

令和5年度事業報告

長野県内の治安情勢は、平成14年以降20年間減少を続けた刑法犯認知件数が増加に転じ、数的治安にも陰りが見え、電話でお金詐欺いわゆる特殊詐欺の被害は依然として後を絶たず、インターネットを利用したサイバー犯罪や児童虐待をはじめとする人身安全関係事案の増加など、県民生活に身近に不安と脅威を与える犯罪が増加している状況にあります。

そのような情勢の下、公益社団法人長野県防犯協会連合会では、令和5年度の事業活動の目標を

「地域のきずなで安全・安心なまちづくり」

と定め、推進重点を

- ① 安全・安心な地域の実現に向けた「絆」や「連帯感」、「規範意識」の醸成
- ② 子ども、女性、高齢者等社会的弱者に係る犯罪被害の防止
- ③ 地域防犯協会、自主ボランティア、警察・自治体等の関係機関・団体との協働とし、真に犯罪の起きにくい社会の実現を目指して、各種の防犯事業に取り組んでまいりました。

その結果、県内における昨年中の刑法犯認知件数は、7,769件 対前年比+1134件、+17.1%となり、増加に転じた前年をさらに上回る結果となりました。治安水準の悪化も懸念される情勢にあります。

特に、電話でお金詐欺（特殊詐欺）の被害状況については、認知件数227件、被害金額9億8千万円に上り、依然として治まる気配はなく、また侵入窃盗認知件数も781件発生し、前年比+204件と大幅に増加し、さらには5月に、中野市内において市民2名が死亡、警察官2名が殉職するという全国に反響を呼んだ殺人事件が発生するなど、治安の悪化が懸念されるところであります。

そのような厳しい情勢の中ではありましたが、公益社団法人長野県防犯協会連合会といたしましては、令和5年度事業計画に基づいて、地域の安全安心の確保を目指し、各種防犯活動を積極的に推進してまいりました。

令和5年度に実施した、具体的な事業推進状況は以下のとおりであります。

第1 地域安全活動事業

1 防犯意識の普及高揚

(1) 広報啓発活動 ～県民の犯罪に対する防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進

「季別の地域安全運動」、「全国地域安全運動」、「年末の特別警戒」や各地域のボランティアによる街頭啓発活動時において、立て看板・ポスターの掲出やチラシを配付するなど、電話でお金詐欺（特殊詐欺）等の被害防止、子ども・女性被害に

係る犯罪、自転車盗などの街頭犯罪、その他身近で発生する各種犯罪の被害防止の意識付けと防犯意識の高揚を図った。

春の地域安全運動（3月～4月）	・立て看板の作製配付	708枚
夏の地域安全運動（7月～8月）	・立て看板の作製配付	608枚
全国地域安全運動（10月）	・広報啓発ポスター	900枚
	・広報啓発チラシ	8,000枚
	・立て看板の作製・配付	2,477枚
年末特別警戒（12月）	・特別警戒ポスター	5,730枚
	・立て看板の作製・配付	3,813枚

電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止啓発、自転車盗難防止防犯登録啓発、防犯ポスターコンクール入賞作品による防犯啓発物品の作製・配布	・7月 ウェットティッシュ	7,950個
	・11月 ファンシーマスク	10,000枚

- 主要新聞の広告掲載による広報・啓発活動の実施
 - ・産経新聞 11/15 「県民の警察官表彰」に併せて掲載
 - ・信濃毎日新聞 12/15 年末特別警戒に併せて掲載
- 防犯季刊紙「防犯信州」の発行による広報・啓発活動

年2回発行 各種広報啓発に係る記事を掲載した。

発行部数 3,900部（春号2,000部・新年号1,900部）
- (2) ホームページ等による地域安全情報の適時的確な提供
 - 警察からの情報提供による事件情報や注意すべき防犯対策、各地域の防犯ボランティアの活動などを連合会Webページカテゴリー「防犯信州」に適時掲載して、県民の防犯意識の高揚に努めた。
 - （公財）全国防犯協会連合会、警察庁、長野県警察ホームページにリンクしてタイムリーな情報提供に努めた。
- (3) 防犯ポスターコンクールの実施と防犯カレンダーの作成
 - 長野県内の小学生（4年生以上）と中学生を対象とした防犯ポスターコンクールを実施し、学校、家庭、地域社会における防犯意識の高揚を図った。

応募総数：312校 6,115点
 - 各警察署等の予備審査を経た142点を対象に県審査会を実施

県審査会月日 10月6日（金）

審査員 外部有識者、公安委員、警察本部長等幹部、協会役員他

審査結果 知事賞3点、特賞3点、金賞10点、銀賞20点、銅賞29点

- 知事賞3点を含めた銀賞以上36点を、県下5カ所の各展示会場（伊那市、岡谷市、山形村、上田市、長野市）に約1週間ごとに展示して、広く県民の防犯思想の普及に努めた。
- 知事賞3点を掲載した、地域安全広報用カレンダー2, 770枚を作製し、市町村、金融機関、コンビニ等に配布・掲出したほか、広報啓発物品ファンシーマスクに掲載し10, 000枚を作製配布して防犯思想の普及啓発に努めた。

(4) 防犯啓発用DVDの購入・貸出し

○ 視聴覚を活用した県民の犯罪に対する防犯意識の普及・啓蒙に必要な教材としてDVDを5本購入し、貸し出しを行い、防犯意識の高揚に努めた。

- ① 『うしわかまるのゆうかいからじぶんをまもる』～幼児小学校低学年対象
- ② 『知っておこう個人情報のトラブル』～団体視聴用～
- ③ 『女性を守る防犯マニュアル』～団体視聴用～
- ④ 『SNSに何げなくのせたら?』～小学生対象～
- ⑤ 『SNSで巻き込まれる犯罪』～中高生対象～

・保管DVD総数 93本 タイトル数61

・貸し出し回数（講習会等開催数） 35回

・貸し出し本数 54本

・視聴延べ人数 6, 625人

(5) 地域の絆や防犯機能を高めるための「あいさつ運動」、「防犯当番制度」の普及

○ 学童の登下校時間帯を中心に、挨拶、声かけ運動を働き掛けたほか、地域持ち回りによる「防犯当番札」の玄関掲出を働きかけた。

○ 長野県将来世代応援県民会議の青少年育成推進事業の一環として取り組む「信州あいさつ運動」（毎月11日「信州あいさつの日」）にも、積極的に参画・広報し子供たちを元気づけ、地域ぐるみで、子どもたちのすこやかな成長を応援するための県民意識の高揚を図った。

(6) 長野県社会福祉協議会（県社協）への支援

県社協の事業に賛助団体として、県社協が主宰する「信州ふっころプラン推進会議」に参画し、子供の権利擁護・健全育成活動等に取り組み、支援を行った。

2 次世代を担う若手防犯ボランティアの育成

(1) 大学生ボランティア『信州ライポ隊』に対する助成

警察本部で委嘱した大学生ボランティア『信州ライポ隊』の行う少年非行防止・防犯啓発活動時に着用するTシャツ65枚（全隊員分）を作製配付した。

3 防犯団体相互の連絡調整

(1) 防犯協会傘下組織及び関係団体との連絡調整、連携

傘下組織である防犯指導員、ホワイトエンジェルス隊、防犯女性部、金融防犯部会の連絡調整を図り、関係団体である少年警察ボランティア協会、コンビニエンスストア防犯協会等との連携、支援、協働活動を推進した。

(2) 自主防犯ボランティア、若い世代のボランティア交流会・研修会の開催

○ 長野県防犯セミナー、防犯ボランティア地域交流会の開催

県下各地で活動している組織傘下のボランティア、自主的に地域で子どもの見守り活動等をしている自主ボランティア、若い世代のボランティア、市町村担当者などを一同に集め、意見交換や講師を招いての基調講演などの研修会を行い、ボランティアの育成、拡充を図った

- ・開催日 令和5年10月3日(火)
- ・開催場所 岡谷市文化会館 カノラホール
- ・参加者数 約200人
- ・基調講演 演題「子どもの見守りと地域防犯活動の課題と対策」
講師 特定非営利活動法人日本こどもの安全教育総合研究所
理事長 宮田美恵子氏

4 防犯協会傘下団体等に対する指導・支援

(1) 防犯女性部による地域安全フォーラム研修会の実施

県下の犯罪情勢を踏まえ、子ども・女性・高齢者等の犯罪被害を防止する防犯活動の中核となって活躍する各地区防犯協会の防犯女性部長等を招致して、基調講演防犯研修、意見交換等を行い、活動の更なる活性化を図った。

- ・開催日 令和5年7月7日(金)
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 58名
- ・基調講演「地域安全活動と健康管理について」～がんと向き合うために～
講師 長野県健康福祉部保健疾病対策課長
医師 宮島有果氏
- ・活動事例発表 更埴防犯協会連合会 伊南防犯連合会

(2) ホワイトエンジェルス連絡協議会隊長会議の開催

10月3日、岡谷市において防犯セミナー・防犯ボランティア地域交流会に先立って県下ホワイトエンジェルス6隊の隊長による連絡協議会を開催し、各隊の現状の報告と今後の活動の方向性等について検討した。

(3) 金融機関防犯責任者による防犯対策会議の開催

金融機関対象の強盗事件等を未然に防止し、インターネットバンキング利用の不正送金等サイバー犯罪に対処するため金融防犯部会「防犯対策会議」を開催した。

- ・開催日 令和5年11月10日（金）
- ・開催場所 ホテル信濃路
- ・出席者 各金融機関の防犯担当責任者等43名
- ・基調講演 演題「サイバー空間の脅威情勢とJC3の取組について」
講師 （一財）日本サイバー犯罪対策センター（JC3）
業務統括マネージャー 小高照正氏

(4) 防犯ボランティア保険の加入

防犯指導員、防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊員を対象に、安心して防犯活動に従事していただくため、活動中における不慮の事故に対する補償として団体総合補償防犯ボランティア保険に加入した。

- 加入者数 999人 （年度中の適用事例はなし）

5 重点的犯罪予防活動の推進

(1) 電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止活動

県下の電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害は、認知件数、被害金額とも、依然として治まる気配はなく、架空請求詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺が大幅に増加し、SNSを利用した詐欺やサポート詐欺など高齢者層に限らず幅広い世代に被害が多発傾向にあることから、被害防止に向けた防犯活動を最重点として実施した。

- 広報啓発
 - ・ 広報啓発グッズの作製、配布
 - ・ ATM設置場所、高齢者が集まる病院、商業施設における広報啓発
 - ・ あらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動
- 研修会・交流会における発生状況、抑止対策の研鑽
 - ・ 総会、研修会、地域交流会等において警察本部生活安全企画課から、特殊詐欺の現状と防止対策についての教養を受けた。
- 電話対策の啓蒙と防犯対策機器の普及
 - ・ 長野県電機商業組合、パナソニックマーケティングジャパン（株）と連携し、各種会議、消費生活展等に出展し、優良防犯電話、ドアホンの効果的利用についての啓発を行い、抑止対策を推進した。
- 防犯女性部等による「寸劇」の披露、高齢者宅への家庭訪問等によるきめ細やかな防犯指導を実施した。
- 金融防犯部会、コンビニエンスストア防犯協会を通じて各種水際対策への

協力依頼を行った。

- ・昨年中の特殊詐欺被害抑止件数

全体	417件	内訳	金融機関	87件	コンビニエンスストア	245件
			家族親戚	47件	その他	38件

- ・特殊詐欺阻止件数功労店舗の表彰と対策会議の実施

令和5年中に最多件数（5件）の特殊詐欺を阻止した店舗を表彰し、記念品を贈呈するとともに、事例を踏まえて被害阻止に向けての対策を協議した。

(2) 自転車・自動車盗難、車上ねらい、空き巣等身近な犯罪の防止活動

- 自転車登録の全車実施、ツーロックの普及の徹底

- ・令和5年度「自転車登録カード」販売枚数

48,825枚（令和6年3月末日現在）

- 地域の各学校と連携した自転車盗難防止活動の推進

- 防犯女性部、ホワイトエンジェルス隊、少年警察ボランティア等による駅前駐輪場における防犯診断・啓発活動の実施

- ・昨年中の自転車盗認知件数 1,040件（前年比+292件）

(3) 子どもを守るための犯罪防止活動

- 「イカのおすし」の下敷きの作製、配付

・子どもを犯罪から守るため、子どもが知っておくべき防犯知識や「子どもを守る安心の家」の利用方法を表示した「イカのおすし」の下敷きを作製配付し、児童の防犯意識の醸成と地域における子どもの安全意識の高揚を図った。

- ・配付対象児童 令和6年度小学校新入生児童

- ・配付枚数 16,700枚

- ・配付対象小学校数 383校

- ・子どもを守る安心の家 13,464軒（令和5年12月末時点）

- 子ども安全防犯カメラ設置事業に対する支援

子どもの安全安心を確保するため、ダイードリンコ（株）及び地元企業が小学校に防犯カメラを設置・寄贈する事業に対して支援を行った。

- 通学路における見守り活動を行う団体の奨励と表彰の実施

(4) 児童虐待防止活動の啓発・支援

- 11月3日、児童虐待防止啓発月間に併せて県下各地で実施した「ながの児童虐待防止オレンジリボン啓発イベント」に協力、参加した。

(5) 女性を犯罪から守る犯罪防止活動

- 警察との連携により、女性に対する「声かけ事案」等予兆事案が発生した際に、ライポくん安心メール等でタイムリーに情報提供を行った。

- 護身術講習会、防犯女性部による防犯指導を実施した

- 防犯ブザー等各種防犯機器の斡旋
- 性犯罪被害者等犯罪被害者支援連絡協議会への参画と協力を行った。
- (6) 外国人居住者に対する防犯指導、犯罪防止対策の推進
 - 「長野県外国人労働者問題対策連絡会議」（第1回目7月28日、第2回目12月14日）に参画し、関係機関との情報共有を図り、協力体制を構築し、外国人居住者の防犯・安全対策を推進した。
 - 警察署と連携し、外国人居住者対象の防犯、交通安全教室を開催し、犯罪に被害・交通事故防止のための啓発活動を展開した。

6 青少年の健全育成と非行防止活動～非行少年を生まない社会づくりの推進～

- (1) 少年警察ボランティア、育成会、PTA、自主防犯ボランティア等と協働し、少年に対する声かけ、街頭補導等の非行防止活動の実施
- (2) 長野県将来世代応援県民会議への参画と支援を行った。
- (3) 警察、学校等と連携による防犯教室等を開催した。

7 暴力追放運動～暴力団組織の根絶と排除

- (1) 警察、暴力追放県民センターとの連携による暴排運動を推進した。
- (2) 暴力追放県民大会への参加、支援を行った。（11月6日上田セントミューゼ）
- (3) 6月2日、長野県暴力追放県民センター一定時評議員会に出席（ホテル信濃路）
- (4) 2月15日、長野県暴力追放県民センター臨時評議員会に出席（ホテル信濃路）

8 覚せい剤、違法ドラッグ等の薬物乱用防止と有害薬物排除活動

- (1) 薬物乱用防止についての広報啓発活動の実施
 - 4月26日長野県薬物乱用対策推進協議会総会に出席、事業に参画した。
 - 薬物乱用防止ポスターの掲出による規範意識の醸成と環境づくりを行った。
- (2) 防犯ポスターコンクールの実施による規範意識の醸成と環境づくりを行った。
 - 小中学生対象の防犯ポスターコンクールにおいて薬物乱用防止関連で多数の作品の応募があり、入選作品については各地で展示掲出した。

9 防犯相談活動

- (1) 地域住民からの意見・要望、相談を受理し、防犯活動に資するとともに必要により関係行政機関に要望、提言を伝えた。
- (2) 防犯教室、講習会等の機会を活用した相談活動を行った。
- (3) 風俗環境浄化活動を通じて意見・要望の把握に努め、対策を講じるとともに関係機関に情報提供を行った。

10 防犯対策の調査研究

- (1) 地域安全・安心ステーションモデル地区の検討
地域住民が、自主防犯活動に取り組む際の活動拠点となる、地域安全・安心ステーションモデル地区の活動と今後の方向性について検討を行った。
 - ・ 地域安全・安心ステーションモデル地区 11地区
- (2) 各種刊行物等の購読及び他県の好事例の調査
 - 全防連発行の「安心な街に」等の定期刊行物の購読
 - 他県における先進事例の調査研修

第2 風俗環境浄化事業

長野県公安委員会から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（以下「風適法」という。）第39条に基づく「長野県風俗環境浄化協会」の指定を受けた事業

1 風俗営業管理者講習及び関連する各種調査業務の推進

- (1) 風適法、同施行条例の周知と適正な業者指導の実施
- (2) 風俗営業所の管理者を対象とした法定講習の実施
 - 講習回数 33回 ○ 受講者数 330人
- (3) 同法に基づく営業所の許可申請、構造設備の変更申請等に関する現地調査の迅速確実な実施
調査回数（対象営業所数） 124回（124箇所）

2 環境浄化活動の積極的推進

- (1) 各地域の自治会、防犯ボランティア、警察等との連携による客引き等の防止のための繁華街における風俗環境浄化活動の積極的推進に努めた。
- (2) 風俗営業の適正な営業、健全化のため、管理者ハンドブック、リーフレットを作成配付した。
 - 管理者ハンドブック 600部 ○ リーフレット 450枚

第3 自転車防犯登録事業、防犯器具普及事業

1 自転車防犯登録の全台実施

- (1) 「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律第12条」に基づき、自転車防犯登録推進協議会・自転車防犯登録店と緊密な連絡を図り、100%登録に努めた。
 - 令和5年度登録台数 65,521台
 - 令和4年度登録台数 61,604台
- (2) 適正な防犯登録業務の推進

ホームページ、チラシ、ポケットティッシュ等により、自転車防犯登録の広報啓発に努めるとともに、利便性の正確な登録・抹消手続きを確保した。

2 優良防犯器具の普及斡旋

(1) 犯罪の未然防止、被害防止のための優良防犯器具、防犯ボランティア活動に必要な器具、備品の普及斡旋を行った。

○ 主な斡旋物品 ・ 立て看板 7, 606枚

(2) 優良防犯器具等の普及斡旋

○ 優良防犯ブザー、優良防犯電話についてホームページで紹介し、長野県電機商業組合、関連商品取扱業者等と連携し、普及促進に努めるとともに斡旋、提供した。

○ 11月17日上田市内で開催された消費生活展において上小・依田窪防犯協会連合会として出展し、「パナソニックマーケティングジャパン(株)」と協働して、防犯啓発を行うとともに優良防犯電話、防犯用ドアホンの普及斡旋に努めた。

第4 防犯功労者(団体)表彰

1 防犯功労者表彰～長年にわたり防犯活動に功労のあった個人・団体に対する表彰

(1) (公社)長野県防犯協会連合会表彰(令和5年度各地区防犯協会での表彰伝達)

- ・ 防犯功労者 17名
- ・ 防犯功労団体 4団体
- ・ 特別功労者 2名
- ・ 特別功労団体 3団体

(2) 関東防犯協会連絡協議会表彰(防犯ボランティア地域交流会での表彰伝達)

- ・ 防犯功労者 6名
- ・ 防犯功労団体 2団体
- ・ 特別功労者 1名
- ・ 特別功労団体 1団体

(3) 全国防犯協会連合会表彰

(全国地域安全中央大会・防犯ボランティア地域交流会での表彰伝達)

- ・ 金賞 1名
- ・ 銀賞 2名
- ・ 銅賞 6名
- ・ 防犯功労団体 1団体
- ・ 特別功労団体 1団体

(4) 県民の警察官表彰への協賛、選考審査

長野放送主催の「第67回県民の警察官」に協賛し、選考審査に参画するとともに

に、受賞者に対して記念品を贈呈して、警察官の士気高揚と地域安全に努めた。

・開催日・場所 11月14日（火）「NBSホール」

第5 組織運営（県防連の目的を達成するために必要な会議等）

1 総会、理事会

(1) 県防犯協会連合会の理事会、総会等の開催

会議名	開催日	開催場所
監事監査	5月8日（月）	ホテル信濃路
第1回理事会	5月23日（火）	ホテル信濃路
定時総会	6月9日（金）	長野市生涯学習センター
第2回理事会	3月25日（月）	ホテル信濃路

2 業務執行状況の報告

(1) 代表理事への報告

専務理事が、毎月の活動状況、業務の推進状況等の報告をメール等によって行うとともに、必要に応じて直接訪問して報告し、指示を受けた。

(2) 監事への報告

必要の都度、監事2名を訪問し、業務の推進状況を報告するとともに、懸案事項についての意見を伺った。

(3) 理事への報告

各理事には、直接訪問し、又は文書により業務の推進状況について適時報告するとともに課題等についての意見を伺った。

3 全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡会議主催会議

(1) 全国防犯協会連合会主催の会議等

都道府県防犯協会専務理事会議・風俗環境浄化事業運営管理者全国会議	8月4日（金）	東京ガーデンパレス
全国地域安全運動中央大会 （防犯功労者等表彰式）	9月28日（木）	東京都新宿区 明治記念館

(2) 関東防犯協会連絡協議会主催会議

関東防犯協会連絡協議会定期総会・地域研修会	7月5日（水）	関東管区警察局
-----------------------	---------	---------

4 県、警察本部、関係機関、団体の総会、会議等への出席

開催日	会議名（開催場所）	出席者
4月11日（火）	県補助金監査（県警本部）	事務局長・担当職員
4月26日（水）	長野県薬物乱用対策推進協議会総会	専務理事
5月10日（水）	長野県警備業協会定時総会	専務理事
5月26日（金）	長野県遊技業組合定時総会	専務理事
6月 2日（金）	長野県暴力追放センター定時評議員会	専務理事
6月 7日（水）	長野県コンビニエンスストア防犯協会総会	専務理事
6月21日（水）	長水防犯協会連合会総会	専務理事
7月 9日（日）	佐久穂町防犯研修会「子供たちの安全と安心」	専務理事
7月11日（火）	長野県警察葬会葬	専務理事
7月12日（水）	犯罪被害者支援連絡協議会総会研修会	専務理事
7月28日（金）	長野県外国人労働者問題対策連絡会議	専務理事
9月13日（水）	長野県自動車盗難等防止対策連絡会	専務理事
11月6日（月）	長野県暴力追放県民大会	専務理事
11月15日（水）	長野県コンビニエンスストア防犯協会年末防犯対策会議	専務理事
12月14日（木）	長野県外国人労働者問題対策連絡会議	専務理事
2月15日（木）	長野県暴力追放センター評議員会	専務理事

以上